

横山中学校グループ（横山中、横山第二小、散田小）

○合同清掃活動

青少年対策地区委員会が行っている清掃活動を地域、PTAの協力のもと、横山中学校グループで合同開催した。中学生が出身小学校の児童とグループを組む形で小中合同の縦割り班を結成し、行った。

2学期は小中合同縦割り班であいさつ運動を行う予定である。活動をととして、子どもたちに校種を超えた関係ができた。



鍵水中学校グループ（鍵水中、鍵水小、由木西小）

○プレ中学生プロジェクト

由木西小学校と鍵水小学校の児童が鍵水中学校に行き、中学校の生活を体験しました。当日は一日かけて、授業見学や授業体験、質問、部活動体験に参加した。

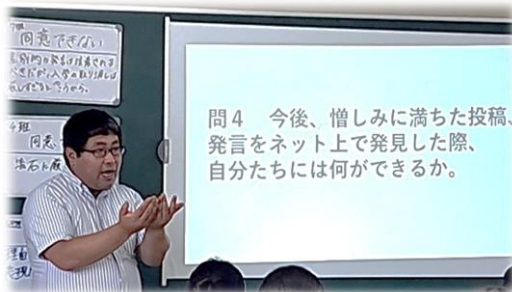
6年生は、鍵水中学校の中学生の授業での姿を見たり、部活動と一緒に活動したりすること、実際に授業や部活動を体験することで、中学校生活のイメージをもつことができた。



由井中学校グループ（由井中、由井第二小、由井第三小、片倉台小）

○安心安全な利活用とデジタル・シティズンシップ教育の推進

「ICTの安心安全な利活用とデジタル・シティズンシップ教育の推進」を研究主題として研究を行い、を考えている。また、中学校へ進学する前の段階からこれらについて学ぶ機会を充実させるため、中学校の教員が小中一貫教育グループの小学校での出前授業を実施している。

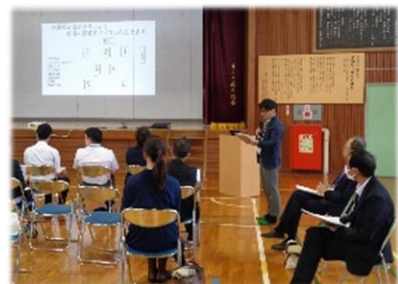


梶田中学校グループ（梶田中、横山第一小、梶田小、緑が丘小）

○梶田グループ合同での「はちおうじっ子ミニマム」の結果分析

「はちおうじっ子ミニマム」の第1回を実施した後、4校で集まり、各学校の結果を持ち寄って、設問ごとの結果を比較し、児童・生徒の傾向を分析した。

各学校の結果から共通して苦手な部分があったことから、学校での指導に活かしている。



中山中学校グループ（中山中、中山小、高嶺小）

○「挨拶運動」の小中交流

毎月はじめに中山中学校の生徒会や生活委員会に所属する生徒が中山小学校に訪れ、中山小学校の児童と一緒に挨拶運動を行っている。挨拶運動で互いに声をかけあう姿が見られ、中学生と小学生が互いに親しみを感じながら挨拶をするようになった。



城山中学校グループ（城山中、城山小）

○小学校の音楽専科教員が中学校の合唱祭に審査員として参加

城山中学校の合唱祭では、城山小学校の音楽専科の教員が審査員として参加している。生徒はかつて小学校で指導を受けた教員が審査することを意識して本番に臨むことができ、教員にとっても合唱祭で中学生の姿を見ることで、中学生段階の実態を踏まえた指導計画が立てやすくなった。



恩方中学校グループ（恩方中、恩方第一小、恩方第二小、元木小）

○小中一貫教育の日における交流会の実施方法の工夫

恩方中学校グループでは、より教科や校務分掌で連携ができるよう、授業後の時間を2部構成にし、第1部は教科ごとの部会で小中学校の9年間を見通した情報交換を行い、第2部は校務分掌ごとの情報交換を行うように変更した。教員が中学校の現状や他校の児童の様子について知ることができ、校務分掌の担当者は他校の校務分掌の実態を知ることができた。



第五中学校グループ（第五中学校、第一小、第四小）

○夏休み補習教室

夏休みに中学生が小学生の学習をサポートする補習教室を開催した。

本年度は、8月末に、第一小で3回、第四小で1回開催した。小学校4～6年生の児童が参加し、中学生は約30名ずつ参加した。小学生は夏の宿題や課題を持参し、分からないところについて中学活から教えてもらった。

小学生は中学活から教えてもらうことで、学習への意欲が高まり、中学生は自分の知識や表現力を確認したり、深めたりすることができた。また小学生と中学生の間に、互いへの尊敬や感謝の気持ちが生まれ、仲の良い関係を築くことができた。

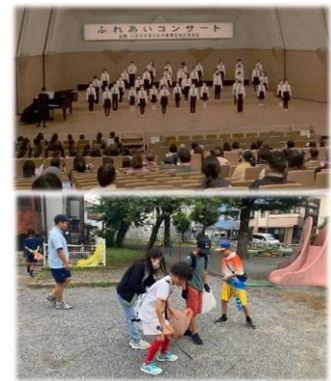


第五中学校グループ（第五中学校、第一小、第四小）

○青少年対策地区委員会の主催行事と連携した地域活動

青小対では小学校と中学校の連携を深める地域活動として、クリーン活動、ウォークラリー、ふれあいコンサート等を開催している。

小学生は中学活から学ぶことが多く、中学校への憧れをもつことや不安を減らすことにつながっている。中学生は小学生に教えたり、励ましたりすることで、自信や責任感を高めている。また、地域の方との交流をとおして、子どもたちが地域を大事にしようという愛着も深まっている。



館小中学校

○中学校教諭の小学校への乗り入れ授業

6年生の体育の授業で、鉄棒を担当と中学校体育科の教員が一緒に指導した。担任と中学校の教員が協力しながら専門性を活かして指導することで、指示が一層具体的で分かりやすいと、子どもたちから好評であった。

活動をとおして、子どもたちに校種を超えた関係ができた。2学期は小中合同の縦割り班であいさつ運動を行う予定である。



館小中学校

○小中合同の活動（入学式・運動会）

小学部1年生と中学部1年生の入学式と一緒に実施した。小学部の6年生と中学部の2、3年生が参加した。中学校の入学式特有の緊張感と小学1年生の可愛さが合わさり、来賓の方々に大変好評であった。

小中合同の運動会は、合同練習で中学生の姿勢が小学生に伝わっている様子が見られた。本番は小学生の一生懸命な姿に中学生が声援を送る様子も見られ、温かい運動会となった。



川口中学校グループ（川口中、川口小、上川口小、松枝小）

○中学校保健体育科教員による、小学校教員への実技講習

川口中学校グループでは、小中一貫教育の日を活用して、体育・保健体育分科会の教員が集まり、各校の体力課題の分析と中学校の体育科教員による実技講習会を行っている。事前に川口中学校の保健体育科教員がグループの小学校に声をかけ、当日に学びたい単元やテーマを募っている。当日は希望に応じて、ハードル走やマット運動などの指導について、指導の流れや細かなポイントを伝えている。



第四中学校グループ（第四中、第二小）

○小中一貫教育共同研究

研究主題「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童・生徒の育成」を掲げ、昨年度に引き続き、各教科等での研究授業・協議を行った。特に今年度は、義務教育 9 年間の系統的・継続的な学習指導を探り、全教科部会で重点取組テーマを設定し、外部講師を招聘した授業研究に取り組んだ。

研究を進める中で、小・中学校教職員間の違いを教職員同士が認めた上で互いに学び合い、義務教育 9 年間で児童・生徒を育てる文化を醸成することができた。さらに、本研究に学校運営協議会も加わることで、地域とのよりよい連携や信頼関係の構築を図ることができた。



中学校教員による乗り入れ授業（算数）



中学校教員による乗り入れ授業（体育）

加住小中学校グループ（加住中、加住小）

○小中合同郷土学習

八王子（郷土）に対する理解と愛着を深める目的で、小学校 5 年活から中学校 3 年生までの児童・生徒が同じテーマで学習を進める取組を行っている。

八王子市にまつわる 5 つの講座を設定し、児童・生徒が学習したい内容の希望をとる。1 学期中に合同授業を実施し、夏休みの課題として調べた内容は「郷土新聞」としてまとめ、学習発表会で展示した。



第六中学校グループ（第六中、第三小）

○第六中学校の生徒による夏休み補習教室学習支援活動

第三小学校で夏季休業期間に 3 日間の夏休み補習教室を実施し、第六中学校の生徒が支援した。ボランティアの募集時に、小学生の補習教室の支援が目的であること、わからないことを教えたり、学習活動を支えたりできること等条件を伝えてボランティアを募った。当日は 8 時 15 分に第三小学校に直接集合し、打ち合わせを行った後に 8 時 30 分から学習支援を行った。時間は 60 分間で、支援終了後は 10 分ほど振り返りをしたのち解散した。支援の前後においては、第六中学校の管理職が、出席の確認を行った。

